

専決処分について（立川市都市計画税条例の一部を改正する条例）

上記の議案を提出する。

令和 7 年 5 月 28 日

提出者 立川市長 酒 井 大 史

理由

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 3 項の規定及び地方税法及び
地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律（令和 7 年法律第 7 号）
の公布による。

専決処分書

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定に基づき、次を別紙のとおり専決処分する。

立川市都市計画税条例の一部を改正する条例

令和 7 年 3 月 31 日

立川市長　酒　井　大　史

立川市都市計画税条例の一部を改正する条例

立川市都市計画税条例（昭和31年立川市条例第22号）の一部を次のように改正する。

次の表中、下線が引かれた部分については、改正前を改正後のように改める。

改正後	改正前
附 則	附 則
1～4略.....	1～4略.....
5 法 <u>附則第15条第36項</u> に規定する条例で定める割合は、3分の2とする。	5 法 <u>附則第15条第37項</u> に規定する条例で定める割合は、3分の2とする。
6 法 <u>附則第15条第37項</u> に規定する条例で定める割合は、3分の2とする。	6 法 <u>附則第15条第38項</u> に規定する条例で定める割合は、3分の2とする。
7 法 <u>附則第15条第41項</u> に規定する条例で定める割合は、100分の75とする。	7 法 <u>附則第15条第42項</u> に規定する条例で定める割合は、100分の75とする。
8～19略.....	8～19略.....
20 法附則第15条第1項、第9項、第13項から第17項まで、第19項、第20項、第24項、第27項、 <u>第31項から第33項まで、第36項、第37項、第41項</u> 若しくは第44項、第15条の2第2項、第15条の3又は第63条の規定の適用がある各年度分の都市計画税に限り、第2条第2項中「又は第33項」とあるのは「若しくは第33項又は附則第15条から第15条の3まで若しくは第63条」とする。	20 法附則第15条第1項、第9項、第13項から第17項まで、第19項、第20項、第24項、第27項、 <u>第31項から第34項まで、第37項、第38項、第42項</u> 若しくは第45項、第15条の2第2項、第15条の3又は第63条の規定の適用がある各年度分の都市計画税に限り、第2条第2項中「又は第33項」とあるのは「若しくは第33項又は附則第15条から第15条の3まで若しくは第63条」とする。
21及び22略.....	21及び22略.....

附 則

- この条例は、令和7年4月1日から施行する。
- この条例による改正後の立川市都市計画税条例の規定は、令和7年度以後の年度分の都市計画税について適用し、令和6年度分までの都市計画税については、なお従前の例による。

